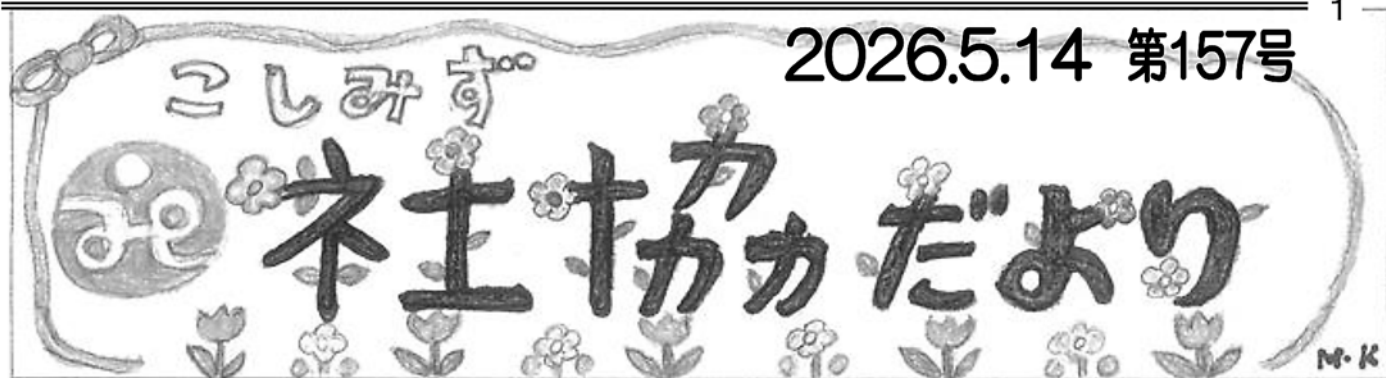




令和8年度 社協会費納入のお願い

春の訪れとともに、今年も地域の福祉を支える大切な季節がやってきました。

小清水町社会福祉協議会では、町民の皆さまが安心して暮らせる地域づくりを目指し、日々さまざまな福祉活動に取り組んでいます。

その活動を支えているのが、皆さまからの「社協会費」です。

この会費は、高齢者の見守り活動や子育て支援、災害時の支援体制づくりなど、地域の“支え合い”を形にするための大切な財源となっています。

地域の未来を、みんなの手で育てていくために。今年度も、社協会費へのご協力を心よりお願い申し上げます。

小清水町社会福祉協議会では、町民の皆さまが安心して暮らせるよう、次のような福祉活動を行っています。

主な活動内容

高齢者支援

一人暮らし高齢者の交流会、配食サービス、見守り支援などを通じ安心とつながりを届けています。

除雪支援

冬の暮らしを支えるため、除雪サービスを行い、安全な生活環境を守ります。

災害支援

災害時には、被災された方への見舞いや支援活動を迅速に行います。

介護・福祉サービス

デイサービス、ホームヘルパー派遣、就労支援など暮らしを支える多様なサービスを提供しています。

ここサービス

妊娠中や出産後のママ、高齢者、障がいのある方、難病のある方の家事支援を行っています。



【年間会費のご案内】

個人会員：1,000 円

特別会員：2,000 円

賛助会員：1 □ 5,000 円～

町民の皆さま、お一人おひとりのご協力が、地域の「やさしさ」と「つながり」を育む力になります。引き続き、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年度 赤い羽根・歳末たすけあい募金 最終実績報告

ご協力ありがとうございました。

昨年中は、町民・法人の皆さまより心あたたまるご寄付を賜り、ありがとうございました。「赤い羽根共同募金」については、12月10日現在の実績を1月22日発行の社協だよりでご報告済みですが、今回は「歳末たすけあい募金」とあわせて最終実績をご報告いたします。皆さまのご厚意は、地域福祉の大切な財源として、今後のまちづくりに活用させていただきます。ご協力に心より感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金実績 1,118,594 円

歳末たすけあい募金実績 643,799 円



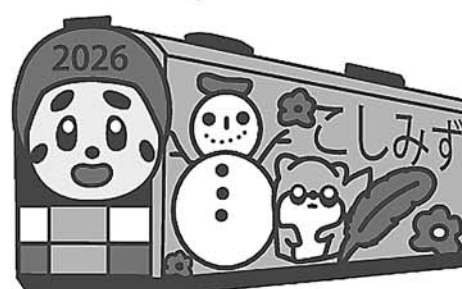
令和8年度 赤い羽根事業計画

★一人暮らし高齢者交流事業 (バス旅行・交流会を開催)	351,000 円	★広域募金 (全国の災害に使われます。)	198,000 円
★小地域ネットワーク (安心して暮らせる地域づくりを支援)	101,000 円	★事務費 (共同募金に関する資材購入など)	150,000 円
★ボランティア団体活動補助金 (ボランティア団体への補助金)	150,000 円	★地区事務所事務費 (オホーツク管内の事務費)	8,000 円
★就学援助費支給事業費 (小中学生のいる準要保護世帯に支給)	160,000 円		

令和8年度 歳末たすけあい募金事業

★友愛訪問 (70歳以上の1人暮らしの方を訪問し交流や見守り)	99,000 円
★福祉用具事業(杖・福祉用具購入)	99,000 円
★地域子育てわくわく交流事業	151,000 円
今年度より、子供たちの心を育てる事業始まります。	
★歳末扶助義援金 (小中学生のいる準要保護世帯に支給)	180,000 円
★社協だよりの発行	114,000 円

2026 赤い羽根ピンバッジ
列車シリーズ第3弾!!
今年も就労支援事業所の皆さんが
デザインしてくれました。
6月頃完成予定です。
お楽しみに。



令和8年度 小清水町社会福祉協議会 事業計画及び収支予算

事業計画

重 点 項 目	実 施 事 業
1.組織基盤の確立	①組織運営の強化と人材の確保②健全な財務管理の推進③事業の運営強化 ④事務局の強化⑤社協情報の発信（社協だよりの発行・ホームページの掲載）
2.在宅福祉サービス事業の推進	①一人暮らし高齢者交流事業 ②配食サービス事業 ③友愛訪問事業 ④小地域ネットワーク活動推進事業 ⑤除雪サービス支援事業 ⑥軽度生活援助事業 ⑦高齢者見守り支援事業（町受託）
3.地域福祉の推進	①災害被害者への見舞等の実施 ②募金運動の取り組み ③日常生活福祉用具の給付・介護用具の貸出 ④暖房費助成事業
4.ボランティア活動の推進	①ボランティアセンター体制の確立 ②ボランティア活動への住民の参加促進 ③ボランティアの派遣（ここサービス）④なごみサロンの開設
5.法人後見事業の推進	①法人後見事業 ②日常生活自立支援事業（道社協・受託業務）
6.心配ごと相談事業の推進	①心配ごと相談の受付
7.生活困窮者福祉の推進	①応急生活福祉資金貸付事業
8.介護保険事業等の推進	①訪問介護事業（ホームヘルプサービス）の運営（介護、介護予防・日常生活支援総合事業） ②通所介護事業（デイサービスセンター）の運営（介護、介護予防・日常生活支援総合事業）③居宅介護支援事業
9.生活支援体制整備事業の推進	①地域における生活支援サービスの充実強化（とんどんこしみず）
10.障害者総合支援法に基づくサービス事業等の推進	①障害福祉サービス事業 ②障がい者等就労継続支援事業 ③地域生活支援事業（移動支援事業-町・受託業務）④障がい児療育事業
11.高齢者生活福祉センターの受託経営（指定管理）	①高齢者生活福祉センターの管理・運営

収 支 予 算

収入の部

単位：千円

科 目	予 算 額
会費収入	1,692
寄附金収入	900
経常経費補助収入	37,603
受託金収入	24,601
事業費収入	8,222
貸付事業収入	1,111
介護保険事業収入	80,613
障害福祉サービス等事業収入	20,508
その他の収入	95
基金積立資産取崩収入	6,445
前期末支払残高	7,311
計	189,101

支出の部

単位：千円

科 目	予 算 額
人件費支出	122,008
事業費支出	25,901
事務費支出	38,119
助成金支出	1,412
貸付事業支出	1,611
予備費支出	50
計	189,101

事業別内訳

単位：千円

科 目	予 算 額
法人運営事業	17,121
在宅福祉事業・地域福祉推進事業	7,564
訪問介護事業	18,290
通所介護事業	59,835
居宅介護支援事業	18,384
生活支援体制整備事業	6,046
障がい福祉事業	32,307
高齢者生活福祉センター運営事業他	29,554
計	189,101



今年度も6月から障がい児水泳療育事業始まります。

【対象】 幼児から高校生までの障がい児とその家族

(手帳をお持ちでない方も対象となる場合があります。お気軽にご相談ください。)

【期間】 令和8年6月～9月まで

(月2回：日曜日 15:00～17:00)

【場所】 小清水町民プール(サンプール)

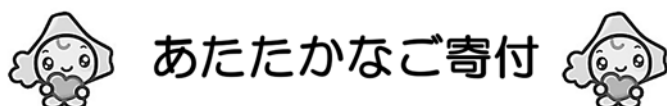
【参加条件】 障がい児と保護者が一緒に入水できる方

【参加費】 無料

【指導者】 上級パラスポーツ指導員・公認水泳教師(社協職員)

山田 なおみ

去年は8家族の参加
がありました。(^^)/



あたたかなご寄付

ありがとうございました。

(令和7年12月23日～令和8年3月30日)

◆香典返しを廃して、金一封を・・・

寺尾	教様	浜小清水
立花	雅子様	旭
上野	隆様	南町2丁目
松田	文子様	南町1丁目
佐伯	純子様	泉
荒木	秀子様	南町1丁目
高木	直之様	止別
堀	邦彦様	南町1丁目
小山	忠幸様	神浦
高橋	雅幸様	元町1丁目
斉藤	まつ様	止別
吉田	隆様	元町2丁目
東野	透様	南町2丁目
小野	和枝様	南町1丁目
原田	祝子様	元町1丁目
瓜田	恵様	止別
横山	かよ子様	南町1丁目

新たに妊産婦が追加されました。

新！ここサービス事業始まります。

利用できる方

- ・小清水町に住民票がある方
- ・一人暮らしの高齢者
- ・高齢者のみの世帯
- ・障がいのある方
- ・妊娠中の方
- ・未就学児のお子さんがある家庭



利用曜日・時間

- ・月曜日～金曜日
- ・午前9:00～16:00まで

※土・日・祝日および年末年始は休み



利用内容

- ・簡単な家事全般
(掃除・洗濯・片付け・買い物など)



利用金額

- ・30分ごとに200円



訪問する担当者

- ・登録されたボランティアがお伺いします。

詳しい内容につきましては、社協まで
ご確認ください。

就労継続支援事業所

「エゾモモンガ」のご紹介



障がいや病気などの理由で、一般の会社で働くことがむずかしい人たちでも自分のペースで働ける場所です。

特 長

- ・雇用契約は結ばない：働く時間や内容が柔軟に決められます。
- ・作業内容はさまざま：軽作業、箱折、清掃、農作業など
- ・工賃（こうちん）という形でお金がもらえる

利用者さんの声

朝早く起きられるようになった。

みんなで仕事するのが楽しい。

一人暮らしが出来るように貯金してます。



職員さん、やさしく教えてくれる

お給料がもらえて、自分の好きな物
を買えるようになった。



自分が、やりたい仕事出来るの
で楽しい、やりがいを感じる。

エゾモモンガで色んな仕事を覚え、ステップアップして他
の職場で働きたい。

調理実習が楽しい。



余暇の外出や
スポーツ活動
が楽しい



学生時代は緊張して同級生と話せな
かったけど、今は話せるようになった。

私たち職員が、サポ
ートしますので安心
してくださいね。



興味のある方は

☎080-2563-1434
までお電話ください

小清水町ボランティアセンターだよりNO.113

「支え合いから生まれる小清水の力」

ど ん ど ん こ し み ず



2月3日、NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンターの橋本泰典氏を招き「ひとりぼっちにならない地域づくり」をテーマに研修会を開催しました。講話では孤立を防ぐつながりの大切さや、合唱団の活動を例に「楽しいから通う」ことが自然と健康に繋がるとのご紹介がありました。また参加者からは「今ここにある縁を改めて大切にしたい」との声も聞かれ、温かな地域づくりを考える貴重な機会となりました。

生活支援体制整備事業【わたしの宝物展】を6月18日（木）午前10時から、愛ホールで開催します。町民皆様の素敵な宝物の紹介と展示がありますので、ぜひご来場ください。

民生児童委員の皆さんが居住棟を慰問されました。

2月13日、毎年恒例の民生児童委員の皆さまが、ほほえみ居住棟を慰問してくださいました。各居室を回り、入居者一人ひとりに温かい言葉をかけてくださり、皆さんの表情も自然とほころび、心とむひとときとなりました。入居者の方からは「毎年お会いできてうれしいです。来ていただきありがとうございます」との声もありました。地域とのつながりを感じられるこのような交流は、入居者にとって大きな励みとなっています。今後とも変わらぬご支援をお願いします。



3月7日、よさこいチーム「びしゃせん」の皆さまが慰問に来てくださいました。デイサービス利用者、居住者の方々、そして職員からは「切れのある踊りと張りのある声に感動しました」との声が多く寄せられました。たくさんの元気をいただき、ありがとうございました。



発行/社会福祉法人 小清水町社会福祉協議会
〒099-3612 斜里郡小清水町字共和 13 番地の 3
高齢者生活福祉センターほほえみ内 ☎ 代表 (0152) 62-3988
ヘルパー・デイサービス部門 ☎ (0152) 67-7322
fax (0152) 62-4405



この「社協だより」は、赤い羽根共同募金等の支援をいただき発行しています。

社協だよりはホームページでもご覧になれます。

<https://protech-web.co.jp/homepage/koshimizu-shakyo/index.html>

